

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

分担研究報告書

褐色細胞腫・パラグングリオーマに関する研究

研究分担者 田辺晶代 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科・医長

研究分担者 成瀬光栄 医仁会武田総合病院 内分泌センター・センター長

研究要旨

「褐色細胞腫・パラグングリオーマの診断ガイドライン2018」の改訂作業を継続した。また症例レジストリシステムを再構築し、既登録症例の経過データを登録した。

A. 研究目的

本研究では、「褐色細胞腫・パラグングリオーマの診断ガイドライン2018」の改訂作業を日本内分泌学会臨床重要研究課題委員会と共同で行うことを目的とする。さらに国立国際医療研究センター研究開発事業と合同で症例レジストリの再構築を行う。

B. 研究方法

「褐色細胞腫・パラグングリオーマの診断ガイドライン2018」の改訂項目案を検討した。また改訂作業に必要なエビデンスを収集するため文献を収集した。また国立国際医療研究センター国際医療研究開発研究班と共同で運営している症例レジストリシステムを移転、再構築する。

（倫理面への配慮）

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従い、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認を得た（20170331）。

C. 研究結果

診療ガイドライン改訂：ガイドライン改訂をめざし、改訂が必要な項目を選別、以下を選定した。

総論）診療アルゴリズム、転移性・浸潤性PPGLのアルゴリズム、診断基準、転移性・浸潤性PPGLの診断基準、用語・略語。褐色細胞腫・パラグングリオーマ）総論、疫学調査、機能診断、画像診断、内科的治療、外科的治療、高血圧クリーゼ、妊婦における診断・治療、小児期発症PPGLの標準的診断・治療法、病理組織診断、遺伝子解析、予後および経過観察法。転移性・浸潤性褐色細胞腫・パラグングリオーマ）悪性度の評価法、遺伝子変異に応じた診療アルゴリズム、化学療法、核医学治療、放射線外照射、骨転移の治療、疼痛の治療、便秘の治療、Perspectives。

レジストリ登録：令和5年3月までに336例の褐色細胞腫・パラグングリオーマ症例が登録された。

D. 考察

診療ガイドラインの改訂には実態調査およびエビデンスの収集が必要である。今後

は症例レジストリシステムから創出されたエビデンスをガイドラインへ反映させる。

E. 結論

「褐色細胞腫・パラガングリオーマの診断ガイドライン」の改訂作業を継続した。さらに、症例レジストリシステムに登録作業を行った。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

1. 高島響子、高野 梢、荒川玲子、下村昭彦、小島康志、中西美紗緒、冨尾賢介、田辺晶代、北川 大、清水千佳子、大石 元、加藤規弘。患者遺伝情報の家系員との共有における倫理的ジレンマの類型化試行。日本人類遺伝学会第 67 回大会、2022 年 12 月 14～17 日

2. 寺川瞳子、田辺晶代、橋本真紀子、中山秀次、梶尾 裕。悪性褐色細胞腫・パラガングリオーマに対する放射線外照射の有効性。第95回日本内分泌学会学術総会、2022年6月2～4日

3. 田辺晶代。画像所見から副腎偶発腫瘍を鑑別する。第 95 回日本内分泌学会学術総会、2022 年 6 月 2～4 日

4. 田辺晶代。ガイドライン 2018 に基づく PPGL 診療と新知見。第 95 回日本内分泌学会学術総会、2022 年 6 月 2～4 日

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし